昔書いた短歌

pha

（ｈｔｔｐ：／／ｐｈａ２２．ｎｅｔ／）

あのひとが人差し指で触ったらチーズのようにとろける小鼻

「この辺りは何が一番が旨いの」と話しかけてきた人にソバット

ジャパニーズ・フード・レセプションに立ち並ぶメニー・メニー・チョップスティックス

天上から舞い落ちてきた絵葉書を右脳左脳のあいだに挟む

巻き舌が震える午前　風が少し強くなった午後　自転車を買う

失恋はありふれている電線が風に鳴るのもありふれている

キスをするために外した縁無しの俺の視力が猫を見ている

再会を喜ぶ人とその陰で走る子供を蹴飛ばす男

親指を紺の手帳に挟まれて線路の前で動けない姉

「二輪車は二輪」「三輪車は三輪」口ずさみつつ人を殴りぬ

全自動で折り畳まれた恋人の上に乗っかったままで日曜

キスをした瞬間どこか別の場所であくびのなかに吸い込まれる蚊

「そんなにもおねがいするほどさわりたいの？」「おねがいするほどさわりたいです」

スカートの模様が複雑すぎたとかそういった問題かもしれない

やみくもにかきまわしたら手の中であたたかいのは魚の卵

吊り革にぶらさがってる右腕の肘から先を静かになでる

つぎつぎに古くなってゆく食材を包括的なカレーにします

辺境とか言ってみたくて原付を西へ西へと走らせています

西の空が綺麗に割れてこんなにも私好みの終末となる

着替えればいいだけなんだ着替えればあとは背骨がやってくれるさ

五歳児に「なんで折るの？」と訊ねられ「折り紙だから」と答える二月

「これをかぐとスッとするよ」と誕生日にもらった瓶をかいでスッとする

サーバーが見つかりませんサーバーが　空はこんなに晴れているのに

「サーバーが見つからない」と言う君の斜め後ろでごはんを食べる

「サーバーが見つからない」と言う君の後ろ姿を見ながら眠る

サーバーを探しに行こう　空を飛ぶ黄色いプロトコルにまたがって

一晩中することがない君のため二段ベッドでサーバーを飼う

もやもやの六角形を見ていたらぐあいが悪くなってきました

怖いから２４時間営業のスーパーに行って食べものを買う

あざやかに覚醒しつつある頭部を揺らさぬように河原へ運ぶ